

競技注意事項

1. 開催日時 令和2年10月3日(土) 競技開始 9:30
2. 会場 等々力陸上競技場
3. 規則 2020年日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会申し合わせ事項に準じておこなう。
4. 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラム誤記の訂正は8時30分までに本部記録係へプログラムに添付してある所定の用紙で届ける。
5. 練習
 - ・競技場使用上の注意に従い、個別に行うこととする。ただし、投擲・跳躍の練習は審判の指示に従って行うこと。なお、本部のアナウンスに注意し、その指示に従うこと。
 - ・公式練習：フィールドの練習は、全て試技順に呼び出して行う。
 - ・競技者以外の練習は認めない。
6. 招集
 - ・通常の1次コールは行わない。所定の時間までに集まり、所定の位置で、最終コールを行う。招集場所については、別紙を参照すること。

招集場所と種目	招集時間(集合完了時刻)
招集場所：7ゲート付近 100mH・110mH・100m・400mR4走 走幅跳・砲丸投	トラック 競技開始30分前まで
招集場所：13ゲート付近 400m・800m・400mR1走 走高跳・棒高跳	走幅跳、砲丸投 競技開始60分前まで 走高跳 競技開始45分前まで 棒高跳 競技開始90分前まで
招集場所：バックスタンド北側 200m・3000m・400mR3走	四種走高跳 競技開始30分前まで
招集場所：バックスタンド南側 1500m・400mR2走	四種砲丸投 競技開始45分前まで

- ・競技場所へ移動した後は、所定の場所で体を動かして良い。
 - ・トラックは、短距離種目は2つ前の組、長距離は1つ前の組がスタートした時点で再度集合する。フィールドは、呼び出しがかかった時点でピットに入る。
 - ・招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
 - ・招集所での受付は本人が必ず行うこと。このときアスリートビブス(ナンバーカード)とスパイクの確認を行う。(ピンの長さはトラック競技他9mm以下、走高跳12mm以下)なお、競技用シューズについてはWA新規定を適用しない。
 - ・四種競技については、すべての種目で招集を行う。
7. リレー
 - ・オーダー用紙の提出は7時45分までに顧問から各地区責任者へ提出する。
 - ・競技者は、1～4走者のそれぞれ指定された場所へ30分前までに集合する。
 8. アスリートビブス(ナンバーカード)
 - ・胸・背に確実にとめる。ただし跳躍種目は、背または胸につけるだけでもよい。
 - ・白のB5版の大きさの布に、男子黒、女子赤字で記入する。高さ12cm、幅5cm以上、飾り文字は使用しない。
 - ・トラック種目の800m、1500m、3000mは右腰に事前に配布した腰ナンバーカードをつける。その他の種目では腰ナンバーカードは使用しない。
 9. 計測
 - ・トラック：電気計時の場合はすべての競技者のタイムを計測する。ただし、中長距離種目は競技進行上、制限タイムを設け、下記の時間を超えた場合はただちに競技を終了する。

	800m	1500m	3000m
男子	2分30秒	5分00秒	10分40秒
女子	2分50秒	5分40秒	—

- ・フィールド計測ライン及びバーの上げ方
- | | | | | | |
|-----|----------------------------|--------|-------|-------|-------------|
| 走幅跳 | 男子5m50 | 女子4m50 | | | |
| 砲丸投 | 男子10m00 | 女子9m50 | | | |
| 棒高跳 | 3m00より開始 以後10cm 4m00 以後5cm | | | | |
| 走高跳 | 男子 練習 (1m55) | —1m60 | —1m65 | —1m70 | —1m75 以後3cm |
| | 女子 練習 (1m30) | —1m35 | —1m40 | —1m45 | —1m50 以後3cm |
| | 四種男子 練習 (1m40) | —1m45 | —1m50 | —1m55 | —1m60 以後3cm |
| | 四種女子 練習 (1m20) | —1m25 | —1m30 | —1m35 | —1m40 以後3cm |

- 10. スタート
 - ・スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。四種競技は、各レースで2回目以降の不正スタートをした者が失格となる。
 - ・2020年度日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。不適切行為があった場合、注意を与える。
 - ・3000mについては2段スタートでおこなう。
- 11. 競技規則
 - トラック
 - ・全てタイムレース決勝とする。
 - フィールド
 - ・走高跳・砲丸投は前半2回の試技でTop8を選出し、後半2回の試技を行う。走高跳・棒高跳は、連続する2回の失敗試技で、競技終了とする。
 - 四種競技
 - ・砲丸投は2回、走高跳は連続する2回の失敗試技で競技終了とする。
- 12. 順位決定について
 - トラック
 - ・電気計時：すべての競技者のタイムを比較し順位を決める。同タイムの場合、写真を拡大し細部まで読みとり決定する。それでも決定できない場合は抽選とする。
 - ・手動計時：同タイムだった場合、着順を優先し、それでも決定できない場合は抽選とする。
- 13. 表彰
 - ・表彰式は行わない。各種目3位までにメダル・賞状、8位までに賞状を後日、顧問を通じて授与する。リレーの優勝校にはカップを授与する。
 - ・最優秀選手については、今大会の優勝者の中から、全国中学生陸上競技大会2020の成績を考慮し、後日表彰する。
- 14. 応援
 - ・選手以外の来場は、付き添いとして各校1人までとする。
 - ・競技場内、練習場、招集場所には、付き添わない。
 - ・競技役員の指示に従い、他の選手との距離を十分確保すること。
 - ・大きな声での会話や声を出しての応援、集団応援はしない。
- 15. 開閉会式
 - ・今年度は行わない。
- 16. 全般に渡る注意点
 - ・3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を回避する行動をとる。また競技役員の指示に従い、自分でも適切な判断をして行動すること。
 - ・こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。
 - ・競技中不用意に手で顔を触らないよう気をつける。
 - ・競技終了後の手洗いを徹底する。
 - ・全員がマスクを着用し、咳エチケットを遵守する。ただし、競技中や熱中症対策として息苦しさを感じた場合はマスクを外し、無理をしないこと。
 - ・競技者にはレース(試技)中のマスク着用は義務づけがないが、招集中・移動中・待機中などは熱中症に気を付けながらマスクを着用する。
 - ・競技者同士の会話は極力避けること。つば、たんを吐くことは極力行わない。
 - ・消毒液は各校(または個人)でも準備する。
- 17. 健康観察
 - ・前日までに、各校で使用している健康観察シート(大会2週間前から前日までの体温がわかるもの)を顧問に提出する。
 - ・大会当日は、「生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書」を顧問に提出する。(確認書は大会以後30日間以上学校保存のこと)
 - ・顧問が「参加状況報告書」を作成して、大会本部に提出する。

- 18. その他
 - ①競技場の利用のしかた
 - ・競技者は指示された場所・通路を使用し、フィールド内や立ち入り禁止区域には絶対に入らない。
 - ・開門前には競技場には入らない。整列をして待つ。
 - ②競技者の控え場所
 - ・スタンドを利用し、所持品は各校で管理する。更衣室は使用できない。
 - ③グラウンド以外はスパイクの使用を禁止する。
 - ④ゴミは各自で持ち帰ること。
 - ⑤応援横幕、のぼり等の設置はできない。

